

令和6年4月1日
砂川市教育委員会

砂川版 「キャリア・パスポート」 指導資料

○はじめに	1
○砂川版「キャリア・パスポート」について	2
○前期課程用	3
○後期課程用	15
○参考様式・指導資料	21

はじめに

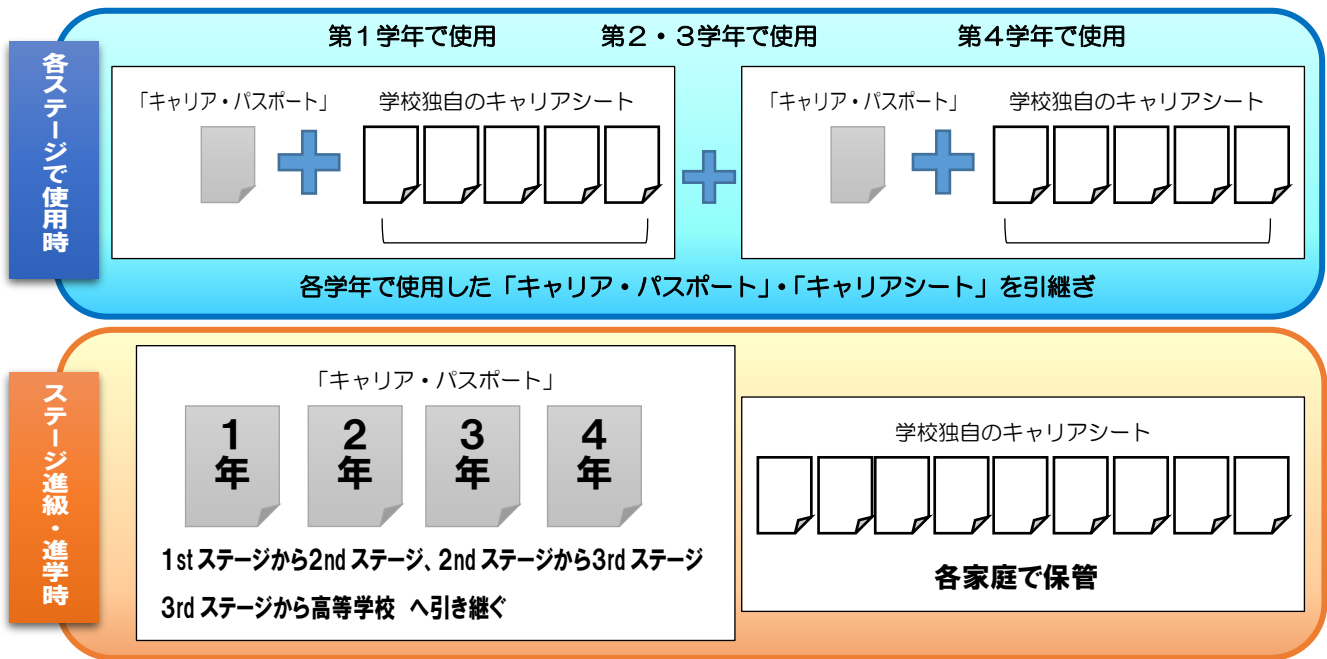
学習指導要領では、「キャリア・パスポート」の定義として、「児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。」としています。

砂川市では、令和2年度から市内全校において、日常のワークシートや学校行事の記録、学習の振り返り等をポートフォリオとして蓄積した独自のキャリアシートを作成し、学年や校種を越えて引き継がれてきました。一方で、各学校でのキャリアシートの内容が充実することに伴い、ファイル自体が厚くなり、引き継ぐ形式としては難しいということや、現在は各学校が設定しているキャリアシートを、義務教育学校開校に合わせて統一する必要があることなどが課題として見られました。そこで、現在のキャリアシートはステージ内で引き継ぐものとして活用し、1stステージ（1～4年生）、2ndステージ（5～7年生）、3rdステージ（8・9年生）、高等学校へと引き継ぐものとして、新たに統一した砂川版「キャリア・パスポート」を作成しました。

砂川版「キャリア・パスポート」（以下、「キャリア・パスポート」という。）は各学年A4サイズ2枚分（両面1枚）です。ステージ内の進級に当たっては、各学年のキャリアシートに合わせて各学年の「キャリア・パスポート」を活用し、それらを引き継ぎます。さらに、1stステージから2ndステージ、2ndステージから3rdステージ、3rdステージから高等学校という、ステージや校種を越えて引き継ぐ際には、「キャリア・パスポート」のみを引き継ぐこととします。その際、キャリアシートは各個人で保管します。

なお、令和7～15年度の間卒業する児童生徒においては、過去の学年分を「キャリア・パスポート」に書き直すことが困難な場合、「キャリア・パスポート」と同様の項目のキャリアシートを抜粋し、「キャリア・パスポート」として引き継ぐことも考えられます。

なお、活用については、参考として『「キャリア・パスポート」の効果的な活用に向けて』（令和3年7月 北海道教育庁学校教育局義務教育課）も併せてご覧ください。



砂川版「キャリア・パスポート」について

Q1 「キャリア・パスポート」にはどんな良さがあるの？

「キャリア・パスポート」を用いて、学年間や校種間をつなぐことで、子供たちや教員にとって次のような良さがあります。

子供にとって

過去に自分が書いたことを読み返したり、振り返ることで新たな学習活動への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりできます。

教員にとって

「キャリア・パスポート」をつなぐことにより、どのような学習過程をたどってきたか、そこでどのように成長してきたかが把握でき、体系的・系統的なキャリア教育につながります。

Q2 「キャリア・パスポート」はいつ使うの？

どの学年も、年度はじめ（4月）、年度の折り返し（10月頃）、年度末（3月頃）に記入できる構成になっています（第1学年を除く）。学級活動の時間などで、キャリアシートを用いて振り返りをしたり、新たな目標を立てたりする際に活用します。

「先生から」の欄にコメントを書く際には

キャリア教育の視点から、一人一人の次のステップにつながるように後押しする内容にすることが大切です。

※子供たちが同じような内容を書いている場合、これまでの「キャリア・パスポート」等の内容や、普段の様子をもとに、一人一人に応じたコメントをするようにします。

〈例〉 宿泊学習の後の振り返りで、Aさん、Bさんのどちらも登山体験に触れ、

「みんなと協力できて〇〇山に登れたことがうれしかった。」と書いていても

引っ込み思案で運動が苦手と言っていたが、登山のとき、息を切らしつつも登り切ることができた児童には…

先生もうれしいです。クラスの目標の「協力」が達成できましたね。登山のとき、あきらめずに一生懸命に挑戦する姿が素敵でした。努力は嘘をつかないことが経験できましたね。



普段から友達と活発に遊んでおり、少し羽目を外すところもある。登山のとき、友達に対して積極的に励ます姿が見られた児童には…

クラスの目標の「協力」が達成できましたね。自分自身のがんばりはもちろんのこと、〇〇さんの声掛けで、クラス全体の団結力が高まりました。これからも人の役に立つ経験を重ねたいですね。



※本指導資料には、「キャリア・パスポート」の各項目について、「子供たちに考えさせたいこと」「指導のポイント」を掲載していますので、「キャリア・パスポート」を活用する際の参考にしてください。

1 ねんせい


() くみ なまえ: ()

かいたひ: _____ ねん がつ にち

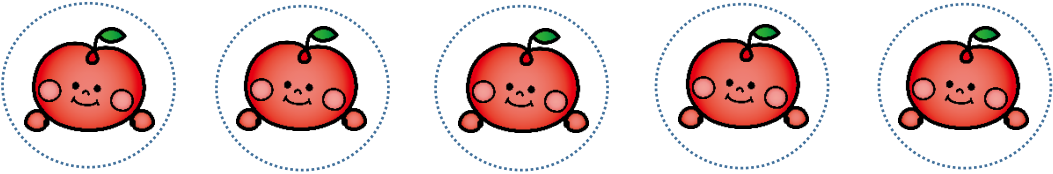
- 1 ねんの はんぶんが おわって
がくしゅうや せいかつで がんばったぶんだけ O を つけましょう。

10 月頃に記入する

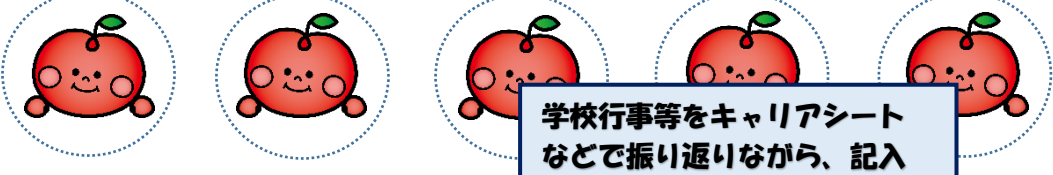
**がんばったな、と おもう かずだけ
まわりの O を かこんでね!**



(がくしゅう) ©砂川市みまもりんご



(せいかつ) ©砂川市みまもりんご



がくしゅうで がんばったこと

せいかつで がんばったこと

学校行事等をキャリアシート
などで振り返りながら、記入
します。
結果だけではなく、できるよ
うになるために行動したこと
に気づかせることが大切です。

これから ちょうせんしたいこと



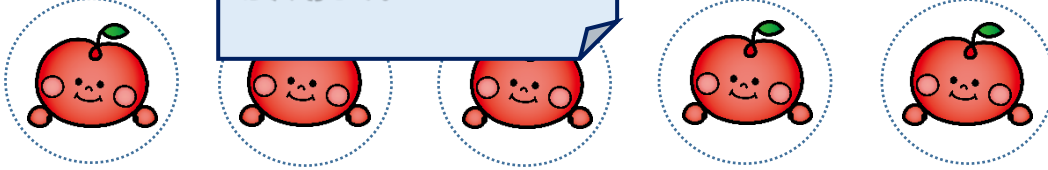
上記の「がんばったこと」と
同じ内容になることがあります。
その場合にも継続して努
力しようとしていることとし
て肯定的に捉えることが大切
です。

せんせいや おうちのひとから

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、
気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性
を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

かいた日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

2 1年かんを ふりかえって

(がくしゅう)	©砂川市みまもりんご
	
<p>3月頃に記入する</p>	
<p>どんな些細なことでも、できるようになったこととして、成長に気付かせることが大切です。</p>	
(せいかつ)	©砂川市みまもりんご
	

がくしゅうで がんばったこと	<p>左記の「がんばったこと」と同じ内容になることがあります。その場合にも、継続して努力していることとして肯定的に捉えることが大切です。</p>
せいかつで がんばったこと	

3 この1年かんで うれしかったことや たのしかったこと

	<p>学級活動の時間を活用して、全体や小集団での話し合いの中で、4月からの学校生活を振り返り、楽しかったことを書くことも考えられます。</p>
--	---

4 こんな 2年生に なりたいな

	<p>具体的な目標が書けない場合でも、新しい学年に向かって、希望を持たせるようにします。</p>
--	--

せんせいから	おうちのひとから
<p>先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。</p>	

2年生

() くみ なまえ

かいた日： 年 月 日

1 2年生になったいまの気持ちやがんばりたいこと

4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年のはんぶんがおわって 日 月 日 かいた日： 年 月 日

目ひょうがどのくらいがんばることができましたか

(れい) あまりがなばれなかった |-----| **10月頃に記入する** ⊕ |-----| がんばることができた

(学しゅう) あまりがなばれなかった |-----| がんばることができた

(生かつ) あまりがなばれなかった |-----| がんばることができた

とくにがんばったこと

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

これからちょうせんしたいこと

上記の「がんばったこと」と同じ内容になることがあります。それを継続して努力しようとしていることとして肯定的に捉えることも大切です。

先生やおうちの先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

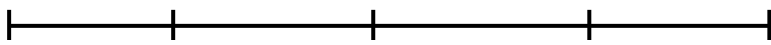
かいた日： 年 月 日

3 1年かんを 振り返って

3月頃に記入する

(学しゅう)

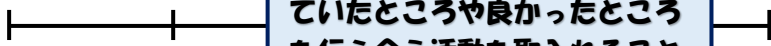
あまりがんばれ
なかった



がんばることが
できた

(生かつ)

あまりがんばれ
なかった



がんばることが
できた

友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

とくにごんばったこと

4 この1年かんでうれしかったこと

学級活動の時間を活用して、全体や小集団での話し合いの中で、うれしかったことを書くことも考えられます。また、交流する中で、うれしかった内容や理由を掘り下げることも考えられます。

5 こんな3年生になりたい

3年生で新たに始まることやなりたい3年生像などについて、話し合うなどにより、新しい学年に向かって、希望をもたせるようにします。

先生から	おうちのひとから
先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。	

3年生

() 組 名前 ()

書いた日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

1 3年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年の半分がおわって 書いた日： _____ 年 _____ 月 _____ 日
目ひょうがどのくらいたっせいできましたか。

(れい) たっせいしていない |-----| たっせいできた

10月頃に記入する

(学しゅう) たっせいしていない |-----| たっせいできた

(生かつ) たっせいしていない |-----| たっせいできた

とくにながらったこと

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。
がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

これからちょうせんしたいこと

1・2年生のお手本となることや、係・当番活動など友達との協力することなど、人との関わりについても考えられるようにします。

先生やお家の人

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

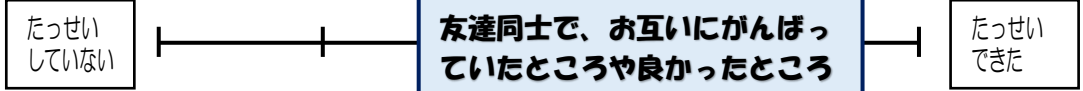
書いた日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

3 1年かんを ぶりかえって
(がくしゅう)

3月頃に記入する



(せいかつ)



友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

とくにがんばったこと

4 自ぜんや生きもの、命などについて、体けんして考えたこと

学校のキャリア教育の目標とも照らし合わせながら、環境体験事業を通じて感じたことを基に、自らの生き方と関連づけて考えられるようにします。

5 こんな4年生になりたい

4年生で新たに始まることやなりたい3年生像などについて、話し合うなどにより、新しい学年に向かって、希望をもたせるようにします。

先生から

お家の人から

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

4年生

() 組 名前 ()

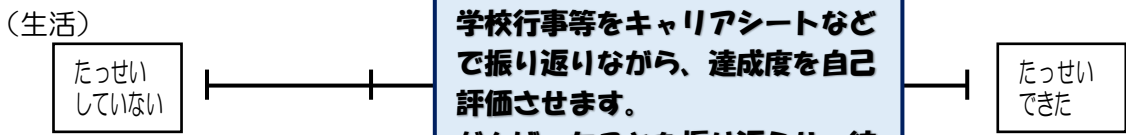
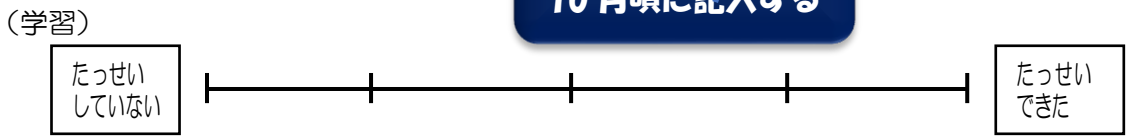
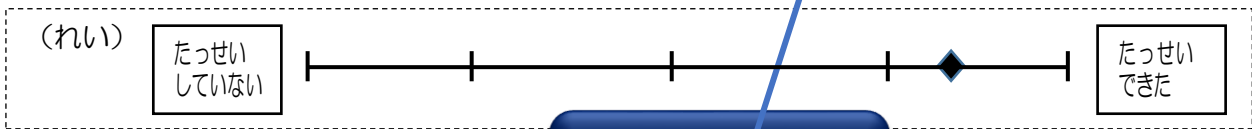
記入日： 年 月 日

1 4年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年の半分が終わって 記入日： 年 月 日
目ひょうがどのくらいたっせいできましたか。



とくにながらったこと

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。
がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

これからちょうせんしたいこと

下の学年のお手本となることや、係・当番活動など友達と協力することなど、人との関わりについても考えられるようにします。

先生やお家の

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

記入日： 年 月 日

3 1年間を 振り返って

(学習)

たっせい
していない

3月頃に記入する

たっせい
できた

(生活)

たっせい
していない

友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

たっせい
できた

とくにごがんばったこと

4 10才のふし目をむかえて

今、む中になっていることや好きなこと	学校行事や係活動等を振り返り、自分の将来に向けて行動していくことを考えさせることが大切です。 友達同士で話し合いながら、友達の意見を参考に、自分について考えさせることも考えられます。
しょう来のゆめ (こんな大人になりたい) や目ひょう	
今がんばっていること	

5 こんな5年生になりたい

高学年 (2nd ステージ) について、役割などをイメージさせ、希望をもたせるようにします。

先生から	お家の人から
先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。	

5年生

() 組 名前 ()

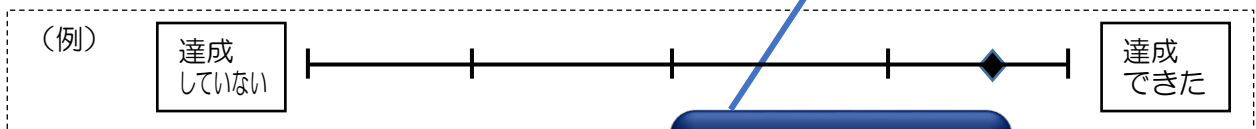
記入日： 年 月 日

1 5年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

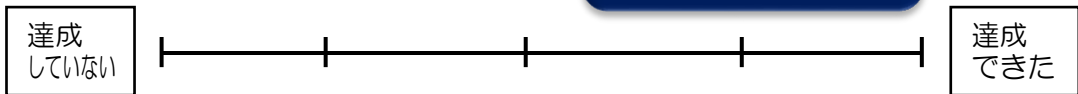
4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

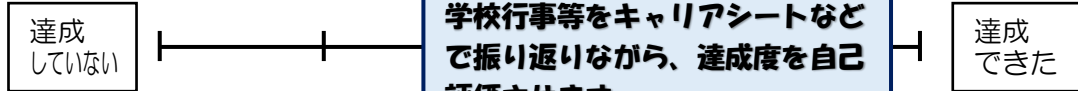
2 1年の半分が終わって 記入日： 年 月 日
目標がどのくらい達成できましたか。



(学習)



(生活)



特に熱心に取り組んだこと

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。
がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

これからちょう戦したいこと

高学年(2nd ステージ)として、お手本となることや、係・委員会活動など責任を持って役割を果たすことになります。失敗を恐れず、より高い目標を掲げ挑戦しようとする気持ちになるようにします。

先生やお家の人から
先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

記入日： 年 月 日

3 高学年としての1年間を振り返って

3月頃に記入する

(学習)

達成
していない

達成
できた

(生活)

達成
していない

達成
できた

友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

特に熱心に取り組んだこと

4 宿泊学習を振り返って

成長できたと思うこと	<p>入学後初めての集団宿泊的行事となる「宿泊学習」はキャリア発達につながる機会が多くあります。 宿泊学習の経験をキャリアシート等から振り返り、成長に気付かせ、それを今後の生活に活かしていくようにすることが大切です。</p>
きっかけとなったできごと	

5 こんな6年生になりたい

	<p>5年生での経験を踏まえ、これからの抱負を考えたり、6年生の学校生活や行事などをイメージさせ、希望をもたせたりするようにします。</p>
--	--

先生から	お家の人から
<p>先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。</p>	

6年生

() 組 名前 ()

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

1 6年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年の半分が終わって 記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日
目標がどのくらい達成できましたか。

(例)

達成
していない

10月頃に記入する

達成
できた

(学習)

達成
していない

10月頃に記入する

達成
できた

(生活)

達成
していない

10月頃に記入する

達成
できた

特に熱心に取り組んだこと

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。
がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

これからちょう戦したいこと

前期課程の最高学年として、下の学年のお手本となることや、係・委員会活動など責任を持って役割を果たすこととなります。失敗を恐れず、より高い目標を掲げ挑戦しようとする気持ちになるようにします。

先生やお家の人から

先生や保護者などが児童の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

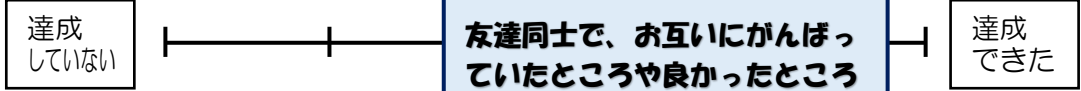
記入日： 年 月 日

3 前期課程最後の1年を振り返って
(学習)

3月頃に記入する



(生活)



特に熱心に取り組んだこと

4 前期課程の生活を振り返って

一番印象に残っている出来事とその理由

成長したと感じたことやそのきっかけ

「キャリア・パスポート」やキャリアシートで振り返ることで、成長を実感させるようにします。

5 後期課程(7年生)に向けた今の気持ち(楽しみなこと、不安なことなど)

6年生でのがんばりを踏まえ、中学生になる抱負を考えさせたり、今思っている気持ちを素直に表現させたりするようにします。

6 将来の夢(こんな大人になりたい) やしてみたい仕事

なりたい大人像や就きたい仕事を考え、それと実生活とを結びつけることが大切です。書けない児童には得意なことから働きかけます。

先生から	お家の人から
先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。	

7年生

() 組 名前 ()

1 後期課程になった今の気持ち 記入日: 年 月 日

4月に記入する

前期課程での出来事や、後期課程の生活が始まった今の気持ちを素直に表現させます。

2 将来の夢や目標に向かって、身に付けたい力とその理由

こんな大人になりたい(将来の夢や目標)	そのために身に付けたい力
そう思った理由やきっかけ	<div style="border: 1px solid #003366; padding: 5px; background-color: #e6f2ff;"> <p>目指す大人像だけでなく、将来の職業を書くこと生徒もいます。ともに認めた上で、そのために身に付けたい力を考えさせることが大切です。</p> </div>

3 になりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのために行うこと

(学習面の目標)	→	すること
(生活面の目標)	→	すること
(家や地域、その他習い事等)	→	すること

前期課程時の「キャリア・パスポート」等を見ながら振り返り、目標とすることとそのための行動をより具体的に考えます。また、地域の一員であることに意識を向けさせることも大切です。

4 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと 記入日: 年 月 日

10月頃に記入する

自己評価とともに、これからの抱負を考えることで、自分が努力することなどを具体的に考えられるようにします。

(学習面)	→	今後
(生活面)	→	今後
(家や地域、その他習い事等)	→	今後

先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。

先生やお家の人などから

3月頃に記入する

記入日： 年 月 日

5 目標の達成状況（1年間を振り返って）

(学習面) 〔達成度： %〕	理由	目標に対してがんばったことやできるようになったこと、そのための努力について、キャリアノート等で振り返らせませす。 自己評価を数値化することで、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることができます。
(生活面) 〔達成度： %〕	理由	
(家や地域、その他習い事等) 理由 〔達成度： %〕		

6 6年生だった自分へ

「キャリア・パスポート」等から6年生のときの気持ちを振り返り、今の自分からメッセージを送ります。

7 8年生に向けて

3rd ステージに向けて、1年間の頑張りを踏まえて、前向きな思いを記入させます。	
先生から	お家の人などから
先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。	

8年生

() 組 名前 ()

1 8年生になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

4月に記入する

前学年末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、8年生(3rd ステージ)が始まった今の気持ちを素直に表現させま

2 なりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにかかること

(学習面の目標)	すること	7年生の「キャリア・パスポート」等を見ながら振り返り、目標とすることとそのための行動をより具体的に考えていきます。また、地域の一員であることに意識を向けさせることも大切です。
(生活面の目標)	すること	
(家や地域、その他習い事等)	すること	

3 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと 記入日： 年 月 日

10月頃に記入する

(学習面)	今後	自己評価とともに、これからの抱負を考えることで、自分が努力することなどを具体的に考えられるようにします。
(生活面)	今後	
(家や地域、その他習い事等)	今後	

先生やお家の人などから
先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。

4 目標の達成状況(1年間を振り返って) 記入日： 年 月 日

3月頃に記入する

(学習面)	理由	目標に対してがんばったことやできるようになったこと、そのための努力について、キャリアノート等で振り返らせます。自己評価を数値化すること、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることができます。
〔達成度： %〕		
(生活面)	理由	
〔達成度： %〕		

(家や地域, その他習い事等) 理由

〔達成度: %〕

- 5 職場体験で学んだことが、今の自分に影響していること
(職場体験後の学習面、生活面での変化や人との接し方、将来への考え方など)

「職場体験」はキャリア発達につながる機会が多くあります。キャリアシート等を活用して振り返り、自分の進路や生き方について考え、実生活につなげるようにします。

- 6 「A」「B」どちらに賛成しますか？
今の自分の気持ちに近いところに、印を付けましょう

A	Aに賛成 ←————→ Bに賛成	B
例	┌───────────────────┐	
将来のことは高校に入ってから考える	┌───────────────────┐	今から将来のことを考えている
自分で人生を切り拓いていきたい	┌───────────────────┐	人に言われるがままの人生でかまわない
勉強するのは高校入試のためだ	┌───────────────────┐	高校入試は通過点。勉強するのはその先の将来のためだ
一度決めた将来の夢は何があっても変わらない	┌───────────────────┐	将来の夢はこれから変わるかもしれない
中学校卒業後の進路が思い通りにならなかつたら、自分の夢をあきらめる	┌───────────────────┐	卒業後の進路が思い通りにならなかつたとしても努力を重ねて夢に近づきたい

AかBのどちらかではなく、それぞれにどの程度賛成かを線上に表すことにより、その理由などについて自分を客観的に見ることにつながります。友達同士で理由を話し合う活動も考えられます。

先生から

お家の人などから

先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。

9年生

() 組 名前 ()

1 9年生になった今の気持ち 記入日: 年 月 日

4月に記入する

前学年末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、9年生が始まった今の気持ちを素直に表現させます。

2 なりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのために行うこと

(学習面の目標) すること

(生活面の目標) すること

(家や地域、その他習い事等) すること

7・8年生の「キャリア・パスポート」等を見ながら振り返り、目標とすることとための行動をより具体的に考えていきます。また、地域の一員であることに意識を向けさせることも大切です。

記入日: 年 月 日

3 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと

(学習面) 今後

(生活面) 今後

(家や地域、その他習い事等) 今後

10月頃に記入する

自己評価とともに、これからの抱負を考えることで、自分が努力することなどを具体的に考えられるようにします。

先生やお家の人などから

先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。

記入日: 年 月 日

4 目標の達成状況(1年間を振り返って)

(学習面) 理由
〔達成度: %〕

(生活面) 理由
〔達成度: %〕

3月頃に記入する

目標に対してがんばったことやできるようになったこと、そのための努力について、キャリアシート等で振り返らせます。自己評価を数値化すること、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることが出来ます。

(家や地域、その他習い事等) 理由
 〔達成度： %〕

5 これまでの約 15 年間で、自分の成長を実感したきっかけのベスト 3



いつ	きっかけ	成長した内容
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「キャリア・パスポート」等を見ながら振り返り、自分ができるようになったことなど成長したことを整理することで、自己肯定感や、これからの意欲につなげます。</p> </div>

6 高校生活等の4月からの進路に向けた今の気持ち（楽しみなこと、不安なこと）

進学、就職等新たな環境での生活が始まります。中学校での頑張りを踏まえ、新たな進路を踏み出すにあたっての抱負を考えさせたり、今思っている気持ちを素直に表現させたりするようにします。

7 30 才の自分へのメッセージ（将来の夢や目標、仕事などを想像して）

15年先の自分の夢や目標にどのようにたどりついているかなどを自分の良さや克服したいことからイメージさせます。その将来の自分にメッセージを書くことで、目標達成への計画を立てることもつながります。書きにくい生徒には、得意なことから導くように働きかけたり、今の自分の頑張りを伝えたりすることも考えられます。

先生から	お家の人などから
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。</p> </div>	